

平成22年度 地域包括支援センター(直営)活動報告 (重点取組)

1 福祉総合相談支援業務

(1) 相談件数

		H22	H21	前年比
1 相談 件数	合計	2,518	2,303	109.3%
	(内新規)	1,030	735	140.1%
	来所	869	778	111.7%
	電話	1,255	1,117	112.4%
	訪問	387	397	97.5%
	その他	7	11	63.6%

		H22	H21	前年比
2 相談 者 内 訳	合計	2,945	2,631	111.9%
	本人	635	569	111.6%
	同居親族	725	652	111.2%
	別居親族	180	128	140.6%
	地域住民・団体	108	95	113.7%
	ケアマネ	93	59	157.6%
	支援センター	548	400	137.0%
	社協	101	129	78.3%
	民生・児童委員	39	11	354.5%
	成年後見人	33	30	110.0%
	医療機関	102	110	92.7%
	高齢者関係施設	134	180	74.4%
	障害者関係施設	17	16	106.3%
	市関係課	151	150	100.7%
	警察	27	17	158.8%
	その他公官庁	28	44	63.6%
	その他	24	41	58.5%

		H22	H21	前年比
3 相談 内 容	合計	4,639	4,074	113.9%
	高齢者日常生活相談	1,087	1,035	105.0%
	高齢者住宅・施設相談	732	602	121.6%
	養護老人ホーム	115	195	59.0%
	高齢者看・介護(保険)相談	893	642	139.1%
	高齢者虐待	256	213	120.2%
	身体障害者(児)	15	9	166.7%
	知的障害者(児)	31	35	88.6%
	精神障害者	166	157	105.7%
	ひとり親家庭・女性・DV・子ども	36	36	100.0%
	認知症	494	453	109.1%
	生活保護	105	102	102.9%
	資金援助・貸付	10	26	38.5%
	医療保険・機関	160	118	135.6%
	成年後見制度	222	240	92.5%
福祉サービス利用援助	164	126	130.2%	
消費者被害	36	20	180.0%	
その他相談	117	65	180.0%	

(2) 府中市内での孤独死等

8件 (うち65歳以上 5件)

※ 孤独死の定義

府中市では孤独死の定義を「年齢や生活形態に拘わらず、社会的、家族的に孤立していることにより自宅で誰にもみとられずに死を遂げること」とし、発見するまでにおおむね一週間以上経過した事例を対象とします。

(参考) 介護サービス等の周囲とのつながりがあり、死後1週間以内に発見された事例

17件 (うち65歳以上 9件)

(3) 高齢者見守りネットワーク事業の普及啓発

- ・ 関係機関13団体に対し周知啓発と見守り協力を依頼した。

協力依頼先：府中警察署、府中消防署、府中市商店街連合会、府中新聞販売同業組合、郵便局(東部、西部)、理容組合、美容組合、そば組合、自治会連合会、府中市医師会、府中市歯科医師会、府中市薬剤師会、民生委員連絡協議会

2 権利擁護

(1) 高齢者虐待防止の普及啓発と、関係機関と連携した早期対応

① 高齢者虐待防止についての研修

5月12日 支援センター職員対象

7月21日 介護相談員向け

② 虐待ケースへの対応

a 養護者による虐待件数

通報・相談件数 78件

〈内訳〉

虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例 55件

虐待ではないと判断した事例 4件

虐待の判断に至らなかった事例 19件

b 施設従事者による虐待件数

通報・相談件数 1件

〈内訳〉

虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例 1件

虐待ではないと判断した事例 0件

虐待の判断に至らなかった事例 0件

(2) 権利擁護センターふちゅうと連携した成年後見制度の活用

老人福祉法第32条に基づく、成年後見制度申立件数 8件

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センターを核とした地域支援ネットワークの充実

各包括支援センター・在宅支援センターが開催する、研修会、事例検討会の企画、講師についての支援

(2) 担当地区ケア会議の効率的、効果的な開催による支援体制の強化

平成22年度 担当地区ケア会議実績：250回

虐待、困難事例等のケア会議への出席

(3) 各包括支援センターの主任介護支援専門員を中心としたケアマネジャー支援体制構築とケアプラン指導事業の充実

① ケアプラン作成のためのグループワーク演習（全4回）

昨年に引き続き、直営と各包括支援センターの主任介護支援専門員の企画運営により勤務年数やレベルに応じたケアプラン指導を実施し、利用者本位の自立支援の視点をもった介護支援専門員の育成を行った。

（介護支援専門員 延122名参加）

② テーマ別の勉強会の開催（全2回）

「虐待ケースの見立て方」・「虐待のあるケースへの関わり方（事例検討）」についての勉強会を開催し、介護支援専門員のスキルアップをはかった。

(介護支援専門員 延99名)

- ③ 研修会の開催 (介護サービスの理解・スーパービジョン研修) (全2回)
(介護支援専門員 延87名参加)

(4) 関係機関とのネットワーク調整

① 医療連携シンポジウムの開催

「我が家で安心した暮らしを最期まで～在宅医療を地域で支える」をテーマに、多摩総合医療センター院長の講演、往診医、訪問看護、介護支援専門員、在宅医療介護を経験した家族でのパネルディスカッションを行なった。(参加者:156名)

② 多摩総合精神保健福祉センター高齢者班往診事業の活用

依頼回数 11回 対象者14人 (親子1、夫婦2)

高齢者の問題行動の見立て、同居家族の見立てを目的に依頼、医療の必要性や対応について精神科医からの意見を支援に生かしている。

《依頼理由》

依頼理由		人数(人)
虐待事例対応	虐待者の見立て	2
	被虐待者の見立て	2
高齢者の問題行動に対する見立て		10
合計		14

《往診結果》

依頼理由		往診結果		数(人)	
高齢者虐待事例	虐待者	精神疾患の見立て	見守りの継続	1	2
		認知症の見立て	精神科受診による認知症の評価および治療	1	
	被虐待者	認知症の見立て	認知機能障害なく、日常生活指導	1	2
			認知症はあるが、精神科受診不要	1	
高齢者の精神症状に関する問題行動	精神疾患の見立て	専門医療機関の受診評価が必要	1	2	
		対応方法の指導	1		
	認知症の見立て	専門医療機関の入院評価が必要	1	8	
		専門医療機関の受診評価が必要	3		
		対応方法の指導	4		

《往診後の経過》

その後の経過	人数(人)
在宅生活継続	6
介護サービスを利用により在宅生活継続	5
専門医療機関定期受診しながら在宅生活継続	1
専門医療機関入院後在宅生活継続	1
内科領域疾患発症により病院にて死去	1

(5) 認知症の人や家族への総合的支援

◆認知症についての正しい理解の普及啓発

① キャラバン・メイトの養成 (現在65名)

・東京都開催のキャラバン・メイト養成講座：3名

(市 直営地域包括支援センター：1名、地域包括支援センター：2名)

② 府中市認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の事務局を担った。

63講座 1,250人 (累計 3,549人)

キャラバン・メイト (講師)の 所属		市民		企業・ 職域団体		学校		行政		合計		
		H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	増減数
支援センター	講座数	33	61	8	6	12	1	0	0	53	68	-15
	養成数	401	902	169	125	391	4	0	0	961	1,031	-70
市	講座数	0	1	1	0	0	4	5	19	6	24	-18
	養成数	0	15	21	0	0	145	162	433	183	593	-410
その他	講座数	4	6	0	2	0	0	0	0	4	8	-4
	養成数	106	208	0	89	0	0	0	0	106	297	-191
合計	講座数	37	68	9	8	12	5	5	19	63	100	-37
	養成数	507	1125	190	214	391	149	162	433	1,250	1,921	-671

※学校での開催：2小、6小、住吉小

③ 認知症タウンミーティングの開催

市民向け認知症タウンミーティングを開催。

・ 3月6日(日) 331名参加

・ 内容：講演 鳥羽 研二氏(国立長寿医療研究センター長)

～ウィズ・エイジングで幸福な老いを～

劇 市民グループ(劇団ふれあいくらぶ)「認知症ってなあに？」

◆認知症の人とその家族への支援体制構築

① 見守り等支援事業の開始(平成23年1月から利用開始)

社会福祉協議会の有償在宅福祉サービスを活用

提供サービス：見守り、話し相手、散歩の付添い 利用者数 延5人

② 緊急ショートステイ事業の開始(平成22年9月から利用開始)

特別養護老人ホーム 鳳仙寮 1床 利用者数 延15人

4 予防マネジメント業務

(1) 二次予防事業対象者把握事業

基本チェックリスト返信者

区分	22年度	21年度
返信者	25,397人	27,787人
返信率	65.9%	72.6%

生活機能評価受診者

22年度	21年度
4,334人	4,770人

二次予防事業対象者

新規決定者	
22年度	21年度
1,163人	1,072人

(2) 介護予防推進事業（二次予防事業）

教室内容	実人数（人）		増減数	延人数（人）		増減数
	22年度	21年度		22年度	21年度	
転倒予防	914	792	122	10,187	9,078	1,109
尿失禁予防	389	297	92	4,425	3,345	1,080
認知症予防	180	123	57	1,888	1,387	501
栄養・口腔	107	84	23	1,198	983	215
うつ予防	74	-	74	720	-	720
計	1,664	1,296	368	18,418	14,793	3,625

(3) 水中介護予防教室

参加者数	22年度	21年度	増減数
実人数（人）	102	102	0
延人数（人）	590	633	-43

(4) 介護予防推進センター事業

①利用実績

事業名	実人数（人）		増減数	延人数（人）		増減数
	22年度	21年度		22年度	21年度	
筋力向上教室	653	523	130	5,927	5,782	145
転倒予防教室	286	195	91	2,729	1,637	1,092
尿失禁予防教室	93	29	64	891	346	546
認知症予防教室	40	40	0	569	656	-87
口腔・栄養教室	37	77	-40	378	837	-459
ウォーキング教室	103	23	80	924	392	532
うつ予防教室	71	46	25	612	516	96
1か月教室	3,435	2,237	1,198	10,990	7,178	3,812
生活支援事業	332	345	-13	865	832	33
介護予防講座	-	-	-	7,926	13,490	-5,564
介護予防相談	-	-	-	157	176	-19
情報室利用	-	-	-	6,433	7,323	-890
交流サロン利用	-	-	-	12,441	15,664	-3,223

②介護予防サポーターの育成及び活動

新規登録	22人	
研修	介護予防推進センターの教室等で体験研修	83人
	育成研修（スキルアップ研修含む）開催数	46回
	育成研修（スキルアップ研修含む）受講者数	314人
活動	地域での介護予防教室等	565人
	元気一番ふちゅう体操普及	161人
	介護予防推進センターでの介護予防教室等	1,375人

③自主グループの育成・支援

延 236グループ
